

町長と意見交換会

新型コロナウイルス感染症拡大にともない、ウイルスとの共存社会が続くとも言われ終息のめども立っていない状態である。

もちろんのこと感染防止に全力を挙げる時ではあるが、町独自の支援の在り方についての議論が必要だと考え、5月14日に町執行部との意見交換会を実施した。

【西山議員】保育園児にもマスク着用をさせているか。保護者への町独自の休暇所得支援助成金は。

【幼児学校教育課長】3才以上児は、着用をお願いしている。

【教育次長】町独自の助成はない。

【米本議員】商工会に加入していない個人事業者への支援は。

【町長】国の持続化給付金、町独自支援策の事業継続給付金の対象となる。

申請の委託や代行の経費として町独自の、雇用体制整備補助金を設けた。

【森本議員】保育所の現状と、今後の学校体育施設や社会教育施設利用の方針は。

【幼児学校教育課長】出席は、6〜7割程度、感染対策を行いつながら通常保育を行っている。

【町長】学校体育施設の一

般利用は中止している。社会教育施設は、町内住民に限り利用可能である。

【西尾議員】学習が遅れているが、対策は。

【教育長】夏休みを1週間短くする予定だ。

【野口昌議員】回覧板が新型コロナウイルスの拡大にならないか心配である。

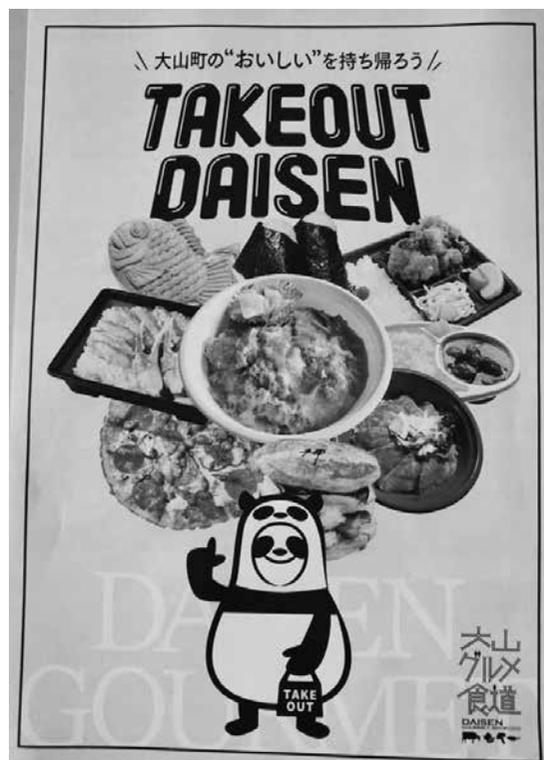
【町長】情報伝達のやり方など工夫していただければと思う。

【加藤議員】テイクアウト取り組み事業者支援の状況は。

【町長】売り上げの助けになっっている感覚は受けている。

【大杖議員】事業継続支援交付金が一律10万円交付にならないか。また、宿泊業支援事業の上限額も引き上げるべきと考える。

大山町の“おいしい”を持ち帰ろう！
**TAKEOUT
DAISEN**



みんなで食べて支援

【町長】実際の減少幅に合わせた仕組みになるように考えている。宿泊業者への影響は今後も続くと考えられる。引き続き様子を見ながら必要な支援をしていく。

【近藤議員】オンライン授業の取り組みや方針は。

【教育次長】学習プリントをタブレット上で使える仕組みを考えている。また、県事業の学習支援ソフトの導入に向けて準備をしている。

【吉原議員】町独自施策の方が町民への支援が早い。経済循環の観点から早急に考えていただきたい。

【町長】時期を見極めながら迅速に対応したい。

【池田議員】特別定額給付金申請必要書類の身分証明書がない人の代わりに書類は、施設入所者や高齢者などのサポートは。

【町長】書類は柔軟に対応している。申請漏れがないように配慮してやっていきたい。